

## じんじゃ ねんちゅうぎょうじ 神社と年中行事



えいふくいなりじんじゃ まつ  
▲永福稻荷神社としょうが祭り

### じんじゃ ねんちゅうぎょうじ 神社と年中行事

ねんじゅうぎょうじ まいとしおな じ き おこな ぎしき いわ ぎょうじ しょうがつ  
年中行事とは、毎年同じ時期に行われる、儀式やお祝いなどの行事のことをいいます。お正月、  
せつぶん ひなまつり たんご せつく たなばた しちごさん  
節分、ひなまつり、端午の節句、七夕、七五三..そしてみなさんが大好きなお祭り、これらもみんな  
ねんじゅうぎょうじ  
年中行事です。

さて、わたし たちのまち はちおうじ でもたくさんのお祭りが 行われていますが、実はこのお祭り、じんじゃ と  
ふか かんけい があるものが おお いのです。

さあ、おも まつ じんじゃ かんけい しら  
さあ、主なお祭りと神社の関係について調べてみましょう。

御嶽神社と百八灯(下恩方町) ※のことばは「神社にまつわることば」コーナーで説明しています

御嶽神社が建てられた年ははっきりしていませんが、寛文7年(1667)に勧請※したと伝えられています。祭神※は少彦名命(すくなひこなのみこと)・大己貴命(おおなむちのみこと)。

4月に行われる例祭※では、夕方から「百八灯」が行われます。百八灯とは、108本のろうソクの灯を神様にささげることで、人間の煩惱(人間が持つ108個の欲望のこと)をとり去り、豊作・家内安全を祈願※する行事です。実際には3000本にもなるろうソクの灯が作り出す風景は大変幻想的です。



▲御嶽神社 百八灯

神社にまつわることば

勧請: 神仏の分身・分霊をほかの地に移して祭ること

祭神: 神社に祭られている神様のこと

例祭: 神社が建てられた日などに行われる、もっとも大切とされる大きな祭りのこと

祈願: 神仏に祈ること

宵宮祭: 例祭の前の日、またはもっと前に行われる祭りのこと

境内: 神社が建っている土地

奉納: 神仏にさしあげること

浅間神社とだんご祭り(台町)

慶長17年(1612)大久保石見守長安が、駿河国(現在の静岡県)の浅間神社から勧請しました。

例祭は8月に行われますが、その宵宮祭※は、境内※でだんごが売られることから「だんご祭り」ともよばれています。明治時代にだんごをつくって奉納※したことから、だんごが売られるようになったといえます。このだんごを食べると暑さ負けせず、病気にかからないといわれています。だんご祭りで行われる「湯花神事」は、めでたいことや不吉なことを占い、正しい心を持つことをすすめ、心を清めるもので、大きな釜に湯をわかし、はらい清めたあと、笹の葉を湯にひたしてお祓いに使います。この湯は神社にお参りに来た人に配られ、飲むと病気にかからないといわれています。祭神として木花咲耶姫命(このはなのさくやひめのみこと)が祭られており、湯花神事はこの木花咲耶姫命の神話のもとになっています。



▲浅間神社 だんご祭り

## 諏訪神社とまんじゅう祭り(諏訪町)

大治元年(1126)に信濃国(現在の長野県)の諏訪大社から勧請したと伝えられています。祭神は建御名方命(たけみなかたのみこと)・八坂刀売命(やさかとめのみこと)。

8月に行われる例祭は「まんじゅう祭り」と呼ばれ、無病息災・五穀豊穰が祈願されます。四谷龍頭の舞(市指定無形民俗文化財)・太刀・神楽・盆踊・山車曳き等が行われます。境内ではまんじゅうが売られ、これを食べると病氣にかからないという言い伝えがあります。この地域では、まんじゅうを作って、親戚や知り合いに配ったり当日来た人に出す習慣が、江戸時代から続いています。



▲諏訪神社 まんじゅう祭り

## 永福稲荷神社としょうが祭り(新町)

永福稲荷神社は、宝暦6年(1756)に相撲取りの八光山権五郎が出世することを祈願して再建されました。その後、権五郎は大関に出世したので信仰を集め、江戸からもたくさんの方がお参りに来ました。現在は、厄除け、新町の氏神さま(その土地を守る神様)として信仰されています。祭神は倉稲魂命(うかのみたまのみこと)。9月に行われる例祭は「しょうが祭り」と呼ばれています。しょうが祭りの始まりははっきりしていませんが、しょうがを奉納し、厄除けを祈願したことからこの名前がつけました。縁日が盛大になったのは明治時代からです。露店ではしょうがが売られ、これを食べた人は病氣にかからないといわれています。

## 市守神社とお酉さま(横山町)

市守神社は、天正18年(1590)長田作左衛門が商人の守護神として祭りました。祭神は倉稲魂命。江戸時代に、お酉さまともよばれる天日鷲命(あめのひわしのみこと)が祭神として祭られてからは大鳥神社ともよばれるようになりました。昭和31年(1956)には八王子市の史蹟に指定されました。

11月の酉の日(毎日に干支の十二支を当てて定める日付け法で、「酉」に当たる日のことを言います。これは、12日おきにやってきます)には例祭が行われます。「お酉さま」や「酉の市」ともよばれる「大鳥祭」です。お酉さまでは、いろいろなかざりのついた熊手が売られます。熊手はその形と使い方から「客を取りこむ」「福を取りこむ」とされ、開運・商売繁盛を願うものとして有名になりました。



▲熊手

## しらべてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次あげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。市内のどの図書館に所蔵しているかは館内OPACで検索、または職員へおたずねください。

※☆印のついているものは、特に小学生におすすめのものです。

☆『日本の神さま絵図鑑 1』 松尾恒一／監修 2012年  
このはなのさくやひめのみこと、お酉さまについて、わかりやすく書かれている

☆『東京都神社名鑑 下巻』 東京都神社庁 1986年  
各神社の住所・歴史・写真などが紹介されている。

『東京都の祭り・行事』 東京都教育委員会／編 2006年  
御嶽神社の歴史や例祭の様子とともに、百八灯の写真がたくさんあり。

『One Two えいと vol.4 えの号』 えいと舎／編 1996年  
まんじゅう祭り・だんご祭り・しょうが祭りが紹介されている。

『One Two えいと vol.14 せの号』 えいと舎／編 1999年  
浅間神社についてくわしく書かれている。

『諏訪神社』 八王子市諏訪町鎮座／著  
諏訪神社のパンフレット。神社の歴史・例祭についてくわしく書かれている。

『由緒略記』 市守神社社務所／発行  
市守神社のパンフレット。神社の歴史・例祭についてくわしく書かれている。

『八王子の歴史と文化 第4号』 八王子市郷土資料館／編 1992年  
浅間神社・永福稲荷の祈願の内容について書かれている。

『佐野川往還』 歴史の道(佐野川往還)調査団／原編 2000年  
諏訪神社とまんじゅう祭りの由来について書かれている。

『八王子市西部地域 恩方の民俗』 八王子市市史編纂専門部会民俗部会／編 2012年  
御嶽神社の歴史や例祭の様子がくわしく書かれている。

編集・発行 八王子市中央図書館

平成26年(2014年)12月

令和3年(2021年)12月 改訂